



## 市民の皆さんが安心して暮らせる、 「市民が主役のまちづくり」を目指して、 新たなまちづくりを全力で前に進めます

新年あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、まちづくりの指針となる第6次敦賀市総合計画後期基本計画を敦賀市再興プランとして策定しました。この再興プランに基づき、新たなまちづくりの実現に向けた各施策の協議を進めるとともに、国や県、近隣市町への要請や折衝に全力で取り組み、準備を進めてきました。

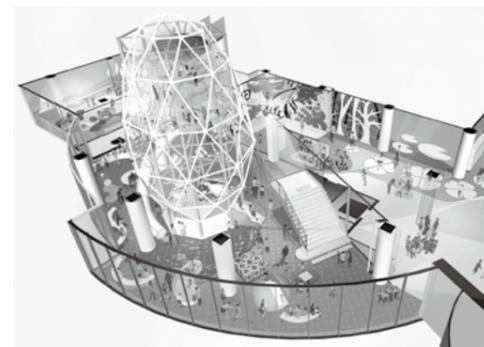
その結果として、まちづくりの準備が整い、北陸新幹線や人道の港、東浦国道8号バイパス、笙の川の整備、ハーモニアスポーツ構

想、杉原千畝ルートや北前船日本遺産登録の推進協議会設立など様々な事業が動きはじめました。また、氣比神宮や市立博物館、立石岬灯台など、貴重な文化遺産について光を当てていただいた年でもありました。本年も、市民の皆さんが安心して暮らせるよう、「市民が主役のまちづくり」を目指し、さらに目に見える形で、新たなまちづくりへの施策を全力で前に進めます。

### 新幹線開業に向けて

いよいよ5年後となりました北陸新幹線の敦賀開業は、地域経済活性化及び地方創生に繋がるもので、本市にとって大きく明るい道が開かれています。

本年は、新幹線駅前広場や駅周辺アクセス道路等駅周辺の整備計画を着実に進め、敦賀駅についても乗換利便性の確保や新幹線駅舎のデザインなどの諸課題に積極的に取り組み、新幹線開業を本市の発展に確実に結びつけます。敦賀駅における利便性の向上



▶子どものための学び・遊びの施設として、整備が進められているキッズパークつるが（イメージ図）

については、ムービングウォークなどの整備が一日でも早く実現できるように、しっかりと関係機関に求めていきます。

### 門前のにぎわい創出

昨年、氣比神宮境内地のほぼ全域が名勝「おくのほそ道の風景地」として国指定文化財に指定されました。また、アクアトムが、全天候型の「キッズパークつるが」として3月にオープンします。これをチャンスとして、氣比神宮と「キッズパークつるが」を連携させ、門前における商業の振興と中心市街地のにぎわい創出により一層努めます。

### 敦賀港の振興

敦賀港は、国の重要港湾に指定されています。就任以来、可能な限り港湾会議への出席を心がけており、そういった場において港湾関係者との連携を深め、敦賀港の機能強化の必要性をお伝えしています。

また、9月2日と10月14日には、乗客定員2,706人の大型外国クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が初めて敦賀港に寄港いたします。市民の皆様とともにおもてなしをし、敦賀港の賑わい創出を図っていきます。

さらに、本年、北前船寄港地日本遺産登録の申請を予定しており、全国の北前船寄港地との連携を通じ、観光地としてのブランド力向上を図り、今後の誘客に繋げていきます。

### 「人道の港 敦賀」の発信

本市は、ユダヤ難民やポーランド孤児を迎え入れた「やさしい日本人がいた場所」であり、

「人道の港 敦賀ムゼウム」を中心に、史実に基づき平和や命の大切さを世界各国に向けて発信するとともに、本市を訪れる方々にとつての満足度向上及び誘客促進を目指し、展示資料の充実や施設の拡充を着実に進めます。

### 敦賀南スマートIC開通

3月に舞鶴若狭自動車道の敦賀南スマートインターチェンジが開通し、新しい市内へのルートが誕生します。これにより、ふるさと夢街道沿いにある農産物直売所「ふるさと夢市場」のにぎわいが増加し、「道の駅」的な存在に生まれ変わることが期待されます。そのため、野菜等の販売エリアの拡大や農家レストランの開業などを検討し、敦賀の観光名所としての飛躍を目指します。

### ハーモニアスポーツ構想

本市では、地方創生への取組として、「地域間競争」ではなく「地域間協調」による近隣市

町との連携を基本とし、広域的な経済圏、生活圏の構築を目的とした「ハーモニアスポーツ構想」の検討を進めています。

この構想は、お互いの長所を活かし合うことによつて、Win-Winの関係を目指すものであり、新たな産業の創出や雇用の拡大、交流人口の増加などに取り組んでいきます。

新たな年も、本市の更なる発展に向けて全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。本年が市民の皆様にとりまして、幸多い一年でありますことを、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

敦賀市長

測上隆信